



プラスチック溶接って
知ってますかー

川本化成(株)

川本化成 -Rawamotokasei-

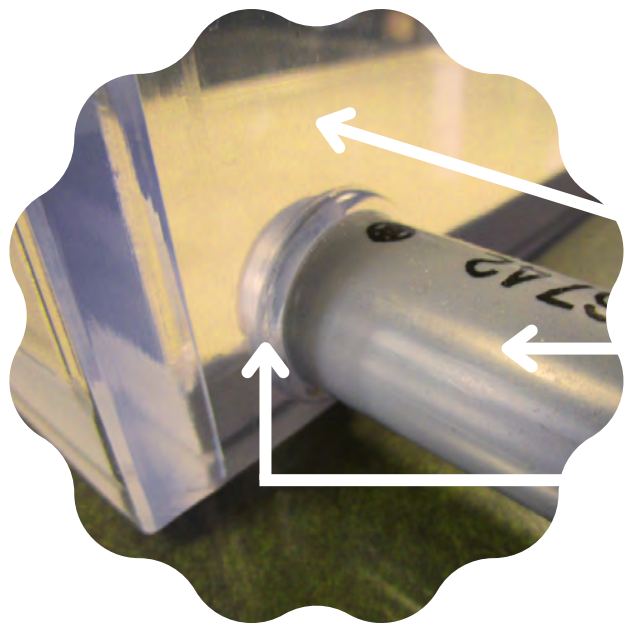
プラスチックの加工を行う "川本化成"
あまり聞きなじみのない "プラスチックの溶接" という技術を使い、
普段目にするものではないが、日本を支える製品を作っている企業だ
"プラスチックの溶接" とはどのようなもので、なぜ大切なのかー



TOPICS

- プラスチックの溶接とは？
- プラスチックの溶接ってなぜ大切なの？
- 社長、川本淳生さんにインタビュー

Q. プラスチックの溶接ってなに？ ▶▶ A. 溶かしたプラスチックで対象物を接合する方法



製品例

- 接合したいもの①
- 接合したいもの②
- 溶かした棒状のプラスチック

自動化の時代に手作業で行う溶接

プラスチックの溶接は自動化ができない。人の手、職人の手があってこそである。川本化成の社長、川本淳生さんは「人間が頭をひねって、汗水たらして作ったものでお金をいただける、それをとにかく大切にしたい。」と話す。

川本化成は、主に「溶接」を行っていて「切削加工」もしている

Q. プラスチックの溶接はなぜ大切なの？ ▶▶ A. 半導体の製造に欠かせない技術だから

半導体ウエハの作業工程

洗浄工程

成膜工程

フォトリソグラフィ工程

エッチング工程

イオン注入工程

ウエハを洗浄し、ごみ・汚れを取り除く
→ **薬品**で洗浄することもある

金属を溶かしてしまう

プラスチックで
洗浄する容器を作る必要がある

半導体を洗浄する容器 (半導体洗浄処理装置) は…

- ・ 大きい
- ・ 依頼主の意向に合わせて何度も作り直すことや、同じ装置でも形状が異なる場合がある

成型

型を作るのに時間・費用が掛かる
金型の変更が難しい

切削

大きなものの加工には
向いていない

溶接

形状の自由度が高い
型を作る必要がない

"プラスチックの溶接" を使うメリット

- ・ 「成型」と違い、毎回金型を作る必要がないので変更に対応しやすい点
- ・ 様々な種類の装置に対応できる点

"プラスチックの溶接" は今の日本に欠かせない技術なのだ！

川本淳生さんにインタビュー 社長にあれこれ聞きました！

Q. 職業病はなんですか？

A. 腰痛

職人さんたちは、できるだけつなぎ目を作らないように、ひとつづきで溶接をするので無理な体制ですることが多く、どうしても腰痛になってしまう

Q. 川本化成さんの技術を知ってもらうために行っているPRなどありますか？

A. 展示会に出展し、溶接を現地でしたり、メディアへの出演などもしたりしている

Q. 仕事に取り組むときのモットーは何ですか？

A. とにかく考えること

「面白いことを一」という信念を持ち続けること

Q. 「面白いことを一」という信念を貫き通してきてよかったことはなんですか？

A. 新しい技術を開発し、それが世に出ていくことが面白い
仕事をしていくモチベーションを保ち続けられる

Q. 川本化成の代表としてこれだけは譲れないことやこだわりはなんですか？

A. 新たな社員を採用するときに、正直な人かどうか、真面目に正直に仕事に取り組んでくれそうな人かこだわっている



川本化成株式会社 代表取締役社長 川本淳生さん

Q. これからどのような会社にしていきたいですか？

A. 海外にいても、プラスチックの加工といえば"川本化成"と言ってもらえるような会社になりたい

Q. 最後にデジタルブックの読者に向けてなにか一言お願いします

A. プラスチックの溶接を広く知ってほしい
知ることのないような企業のおかげで今の日本があることをわかってほしい



"プラスチックの溶接" という技術があることを知ってほしい

生涯知ることのないような企業の "集大成" が今の社会であることを知ってほしい

川本化成株式会社 会社概要

50年以上プラスチックの組み立て・加工技術向上に努めている

各種プラスチック素材による樹脂加工とオーダーメイド販売を行う

環境保全宣言をし、取り扱う素材の性質を理解してその加工にかかる騒音・振動・廃液・火災などで近隣に迷惑が掛からないような配慮をしている企業である

得意分野：

プラスチックの溶接

液晶・半導体の洗浄処理装置

LED・太陽光電池の処理装置



左.会社内観 中.溶接風景 右.会社外観 ▶